



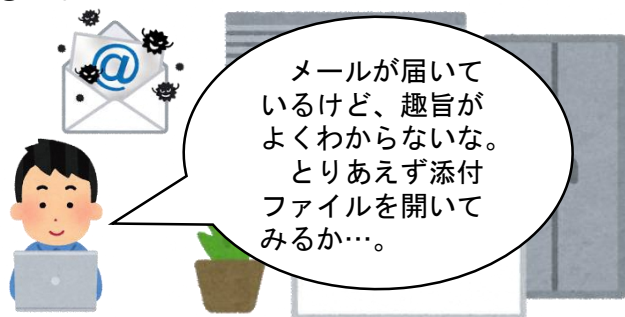
## 介護施設でもランサムウェアの被害が発生！

**ランサムウェア (Ransomware)**とは、「Ransom(身代金)」と「Software(ソフトウェア)」を組み合わせた名称のコンピュータウイルスです。パソコンやサーバーが感染するとデータが暗号化され、その復旧と引き換えに身代金が要求されます。

① 攻撃者がウイルスを添付したメール、閲覧すると感染するウェブサイト等を用意



② 不審なメール、ウェブサイト等から感染



③ データが暗号化され金銭を要求！  
要求に応じても二重脅迫されるケースも！



④ 金銭を支払ってもデータ復旧の保証なし



※ ランサムウェア感染までの一例

ランサムウェアによる被害が世界的なニュースになっていますが、特別養護老人ホームなどでも被害が発生しており、規模は関係なく**全ての介護施設・事業所が対象**となりえます。

被害防止の対策としては、

- OSやソフトウェア、ウイルス対策ソフトを常に最新の状態にする
- メール添付ファイルやリンクを安易に開かない
- 不審なウェブサイトは閲覧しない
- 日頃から感染防止対策等の研修をして従業員のセキュリティ意識を高める

などに気を付けてください。

しかし、どれだけ対策をしても確実な被害防止は難しい状況になっていますので、被害にあった際の影響を最小限に抑えるため、

- 感染したパソコンは早急にネットワークから切り離す
- 定期的にデータをバックアップし、ネットワークから切り離して保存しておく

などを行い、被害時における事業継続に備えてください。

もし、ランサムウェアをはじめサイバー犯罪の被害等を確認した際には、まずは**最寄りの警察署へ通報、相談**してください。

